

第50回 日本臨床細胞学会東北支部連合会学術集会

スライドカンファレンス

(2) 泌 尿 器

岩手医科大学付属病院病理診断科

富澤 静子

2013年7月6日 ベストウェスタンホテルニューシティ弘前

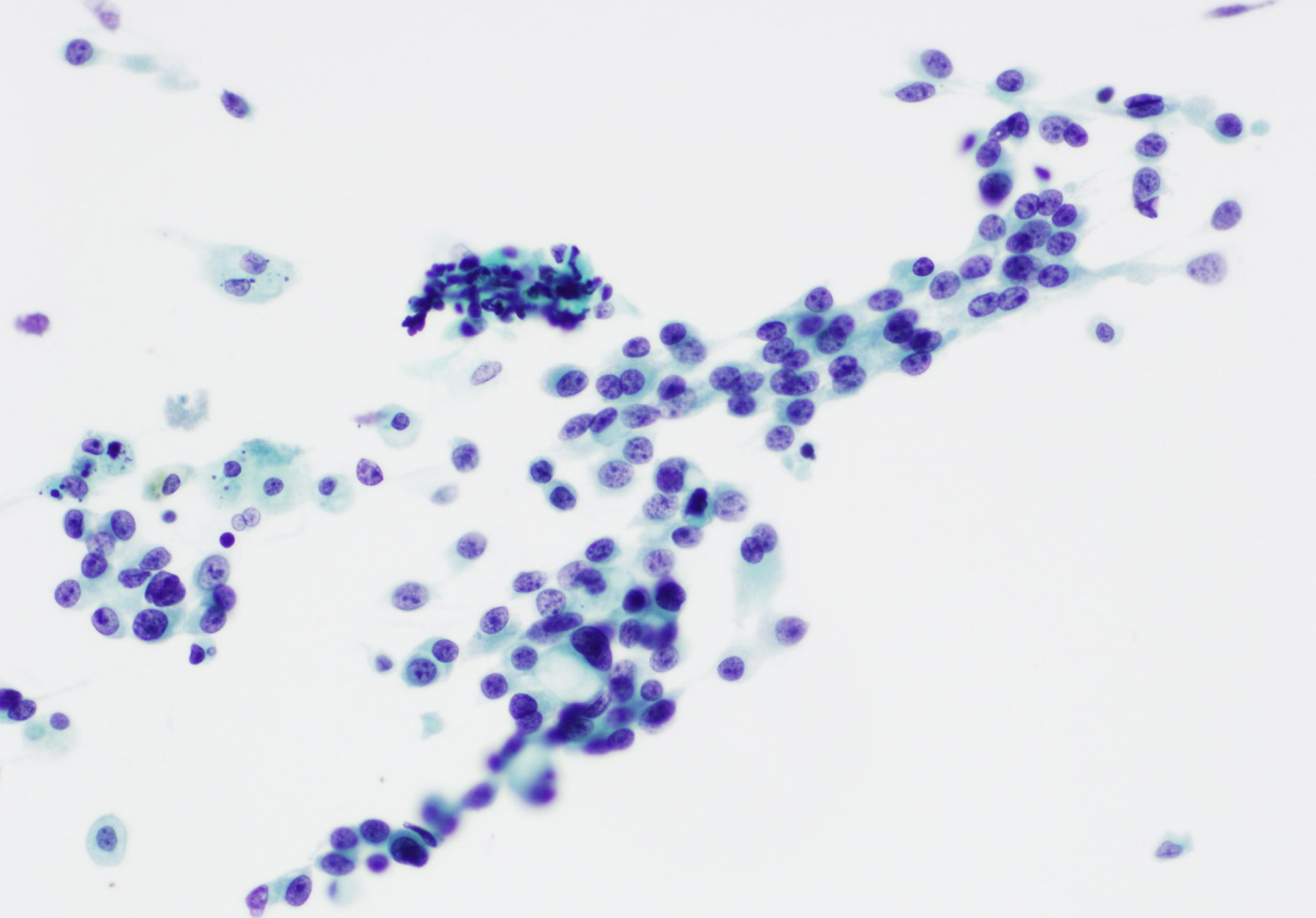
症 例

患者:80代、男性

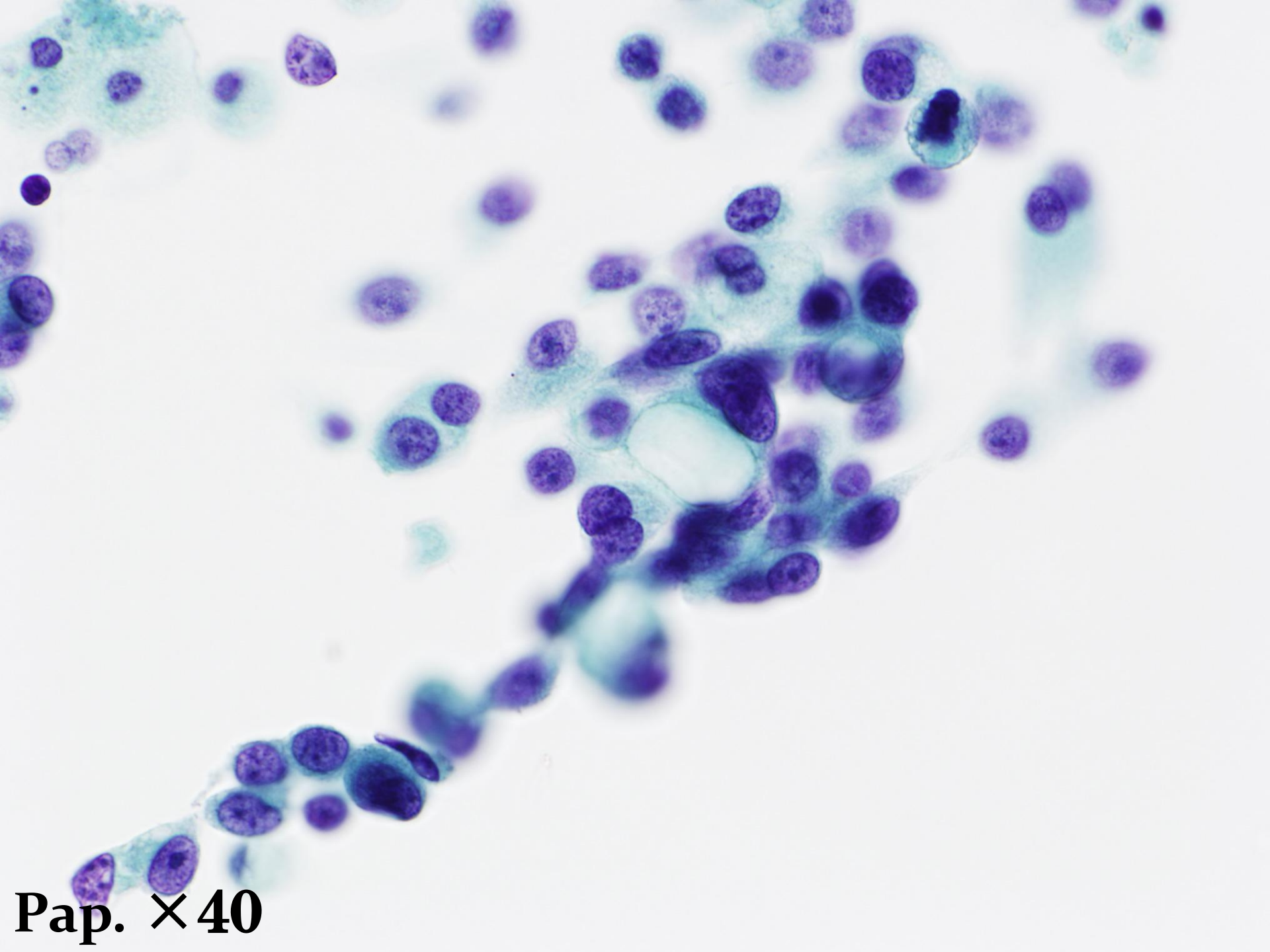
主訴:排尿障害、血尿

検体:膀胱内視鏡施行時の、膀胱洗淨尿(引きガラス法)

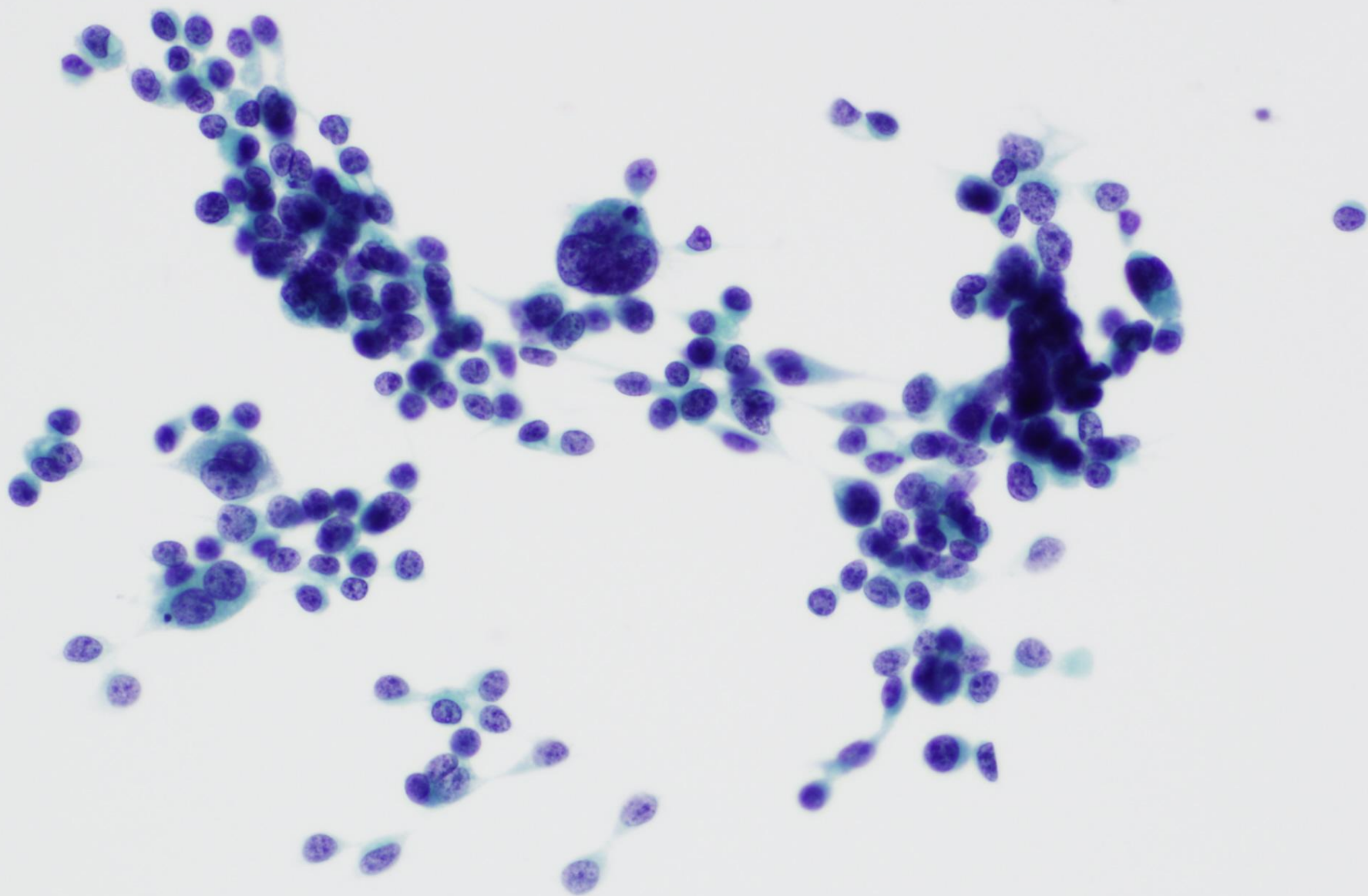
原病歴:2008年に前立腺肥大症と診断された。2011年10月に排尿障害を自覚し、定期的に尿一般検査を施行していた。2012年2月に血尿が出現し、尿一般検査にてN/C比の高い細胞を指摘され、精査目的のため同年3月に膀胱内視鏡、膀胱生検、膀胱洗淨細胞診が施行された。膀胱内視鏡では前立腺尿道から膀胱頸部にかけて非乳頭状の腫瘍が散在していた。



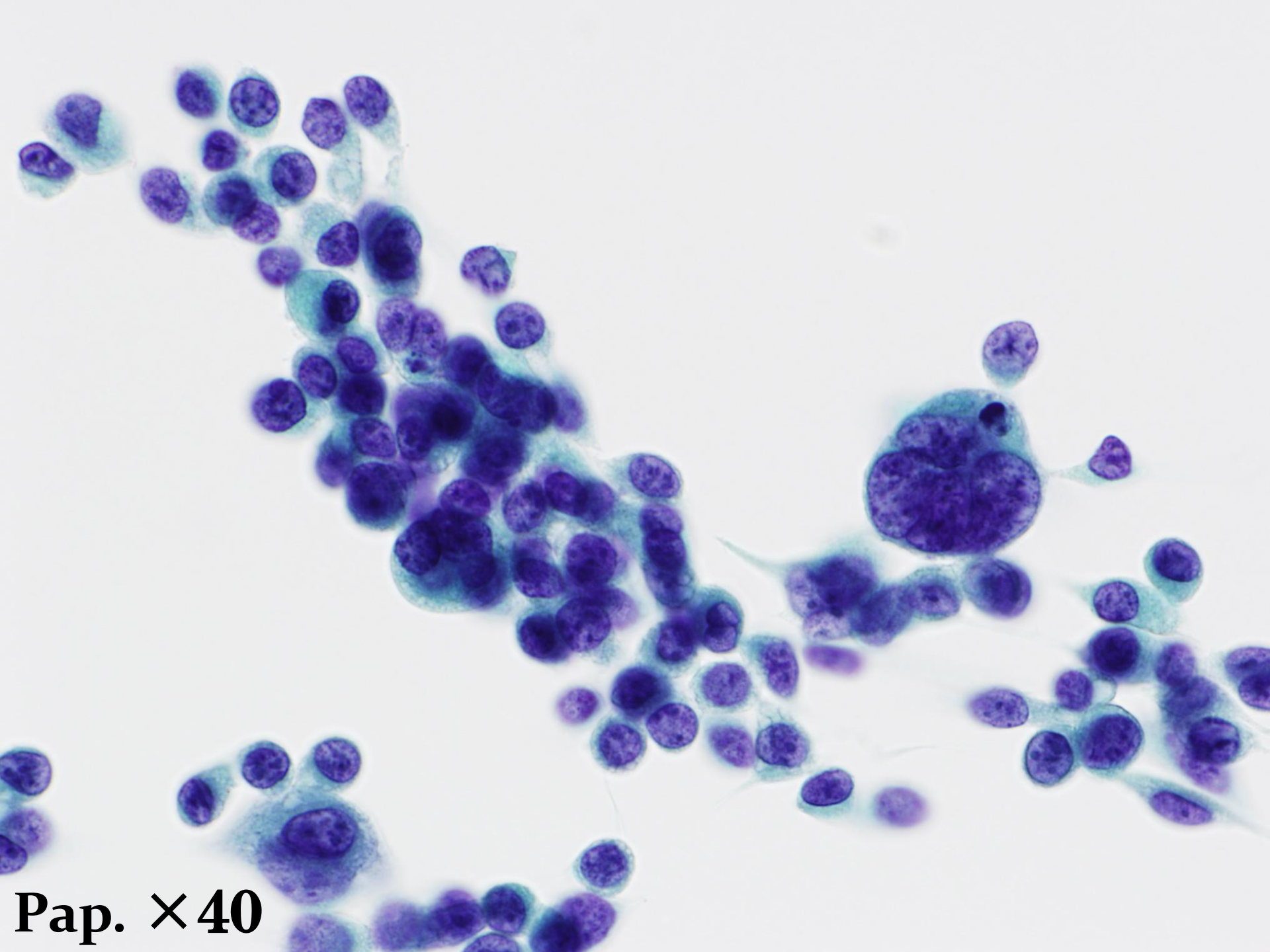
Pap. × 20



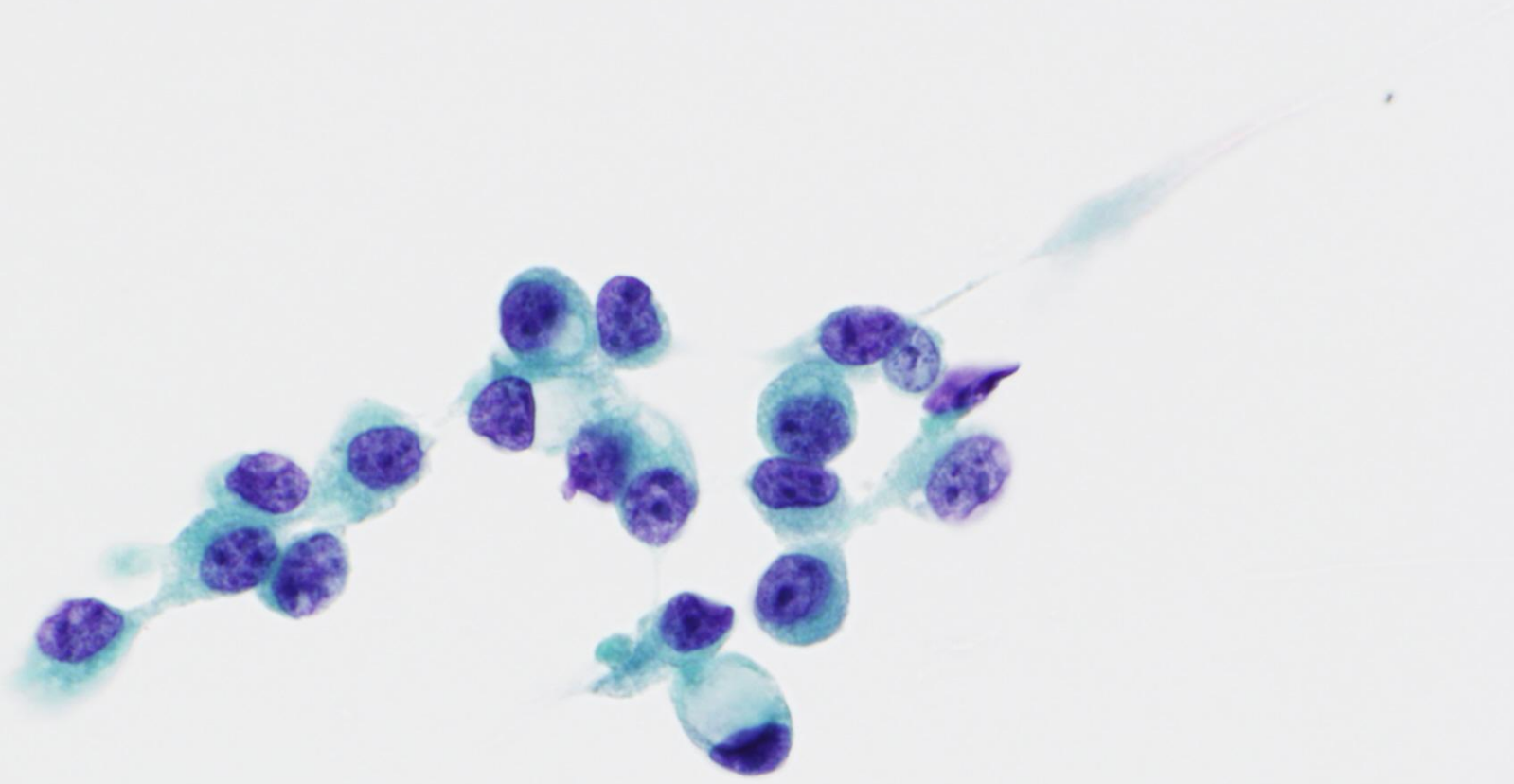
Pap. $\times 40$



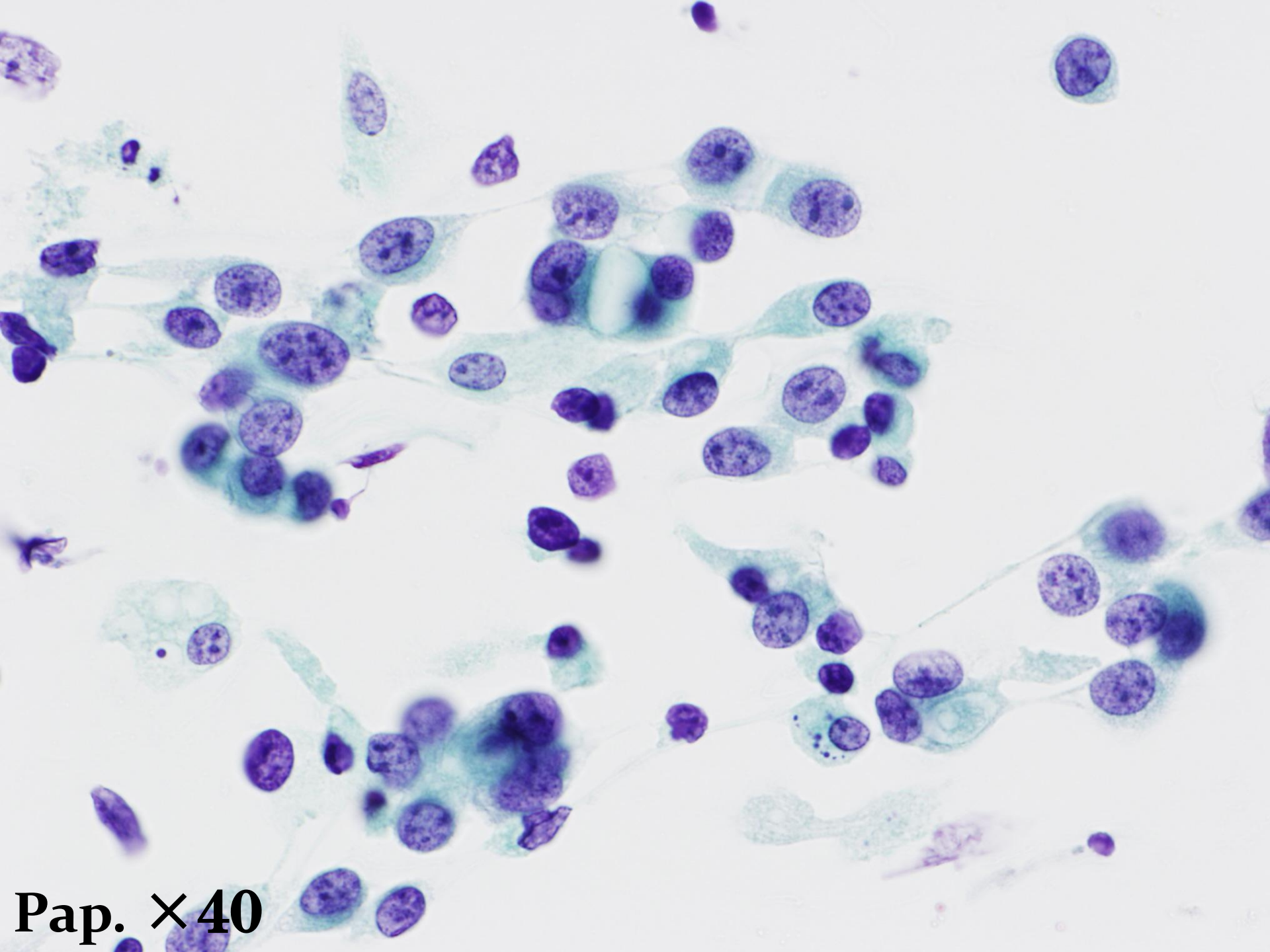
Pap. × 20



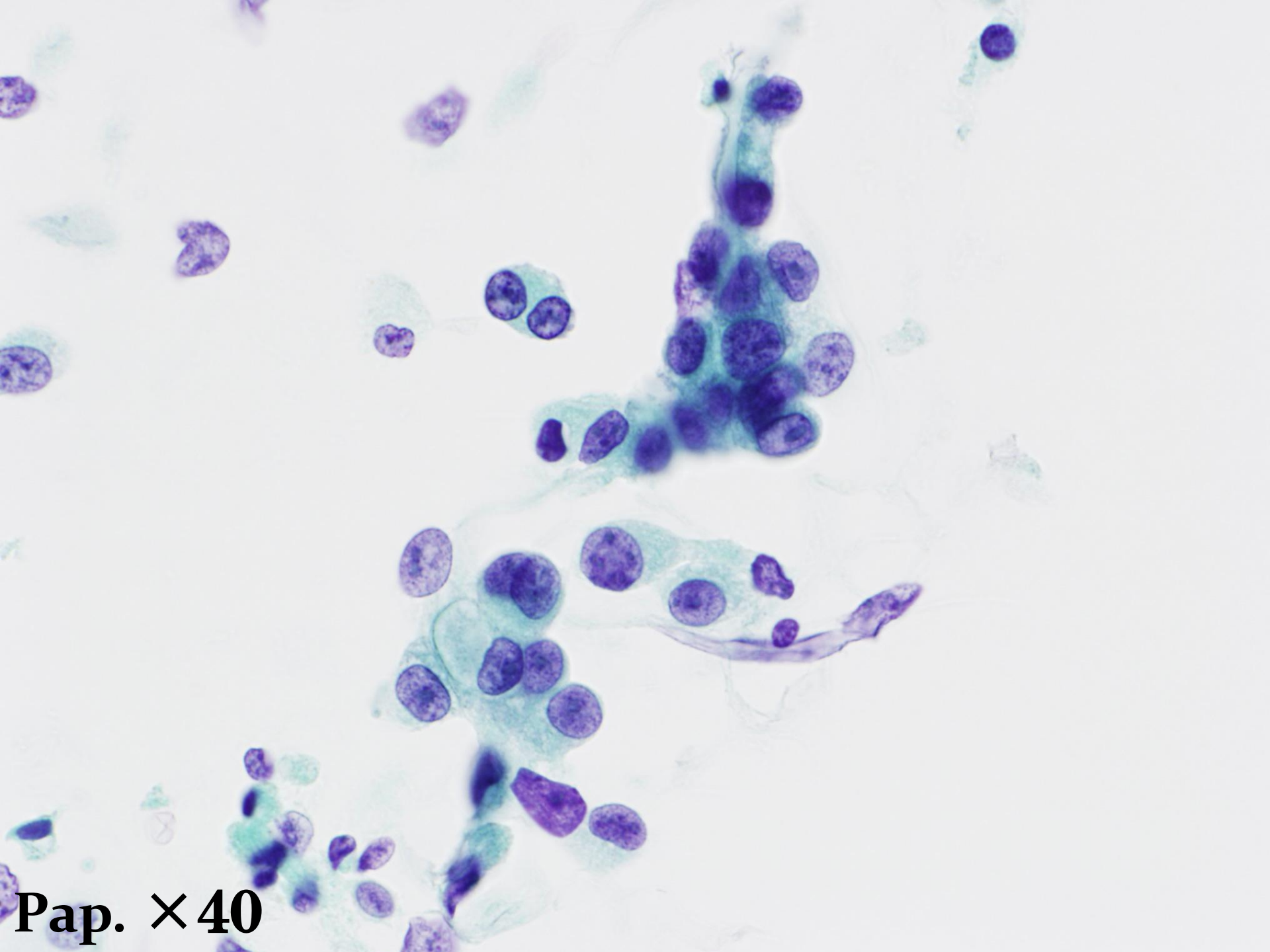
Pap. ×40



Pap. ×40

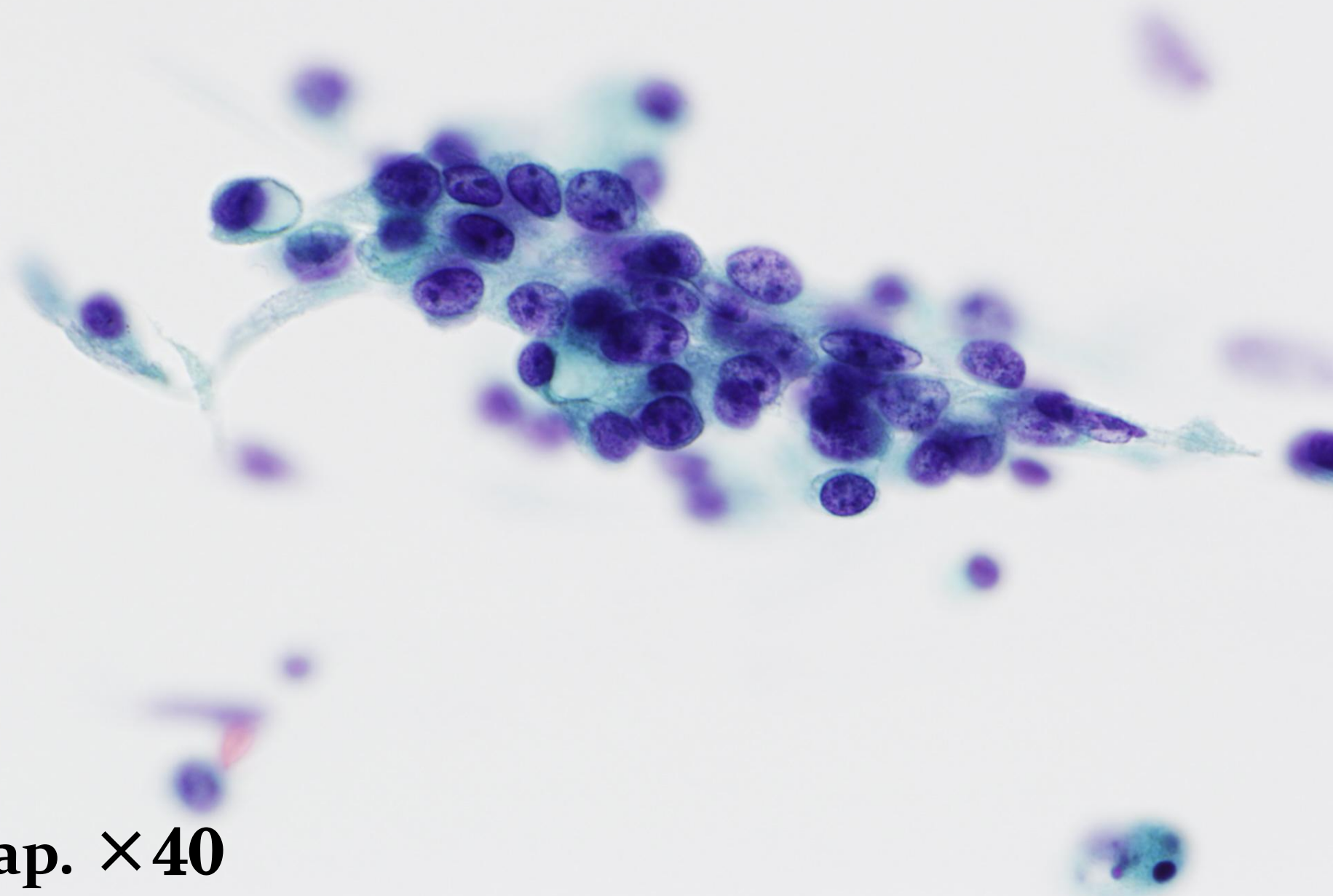


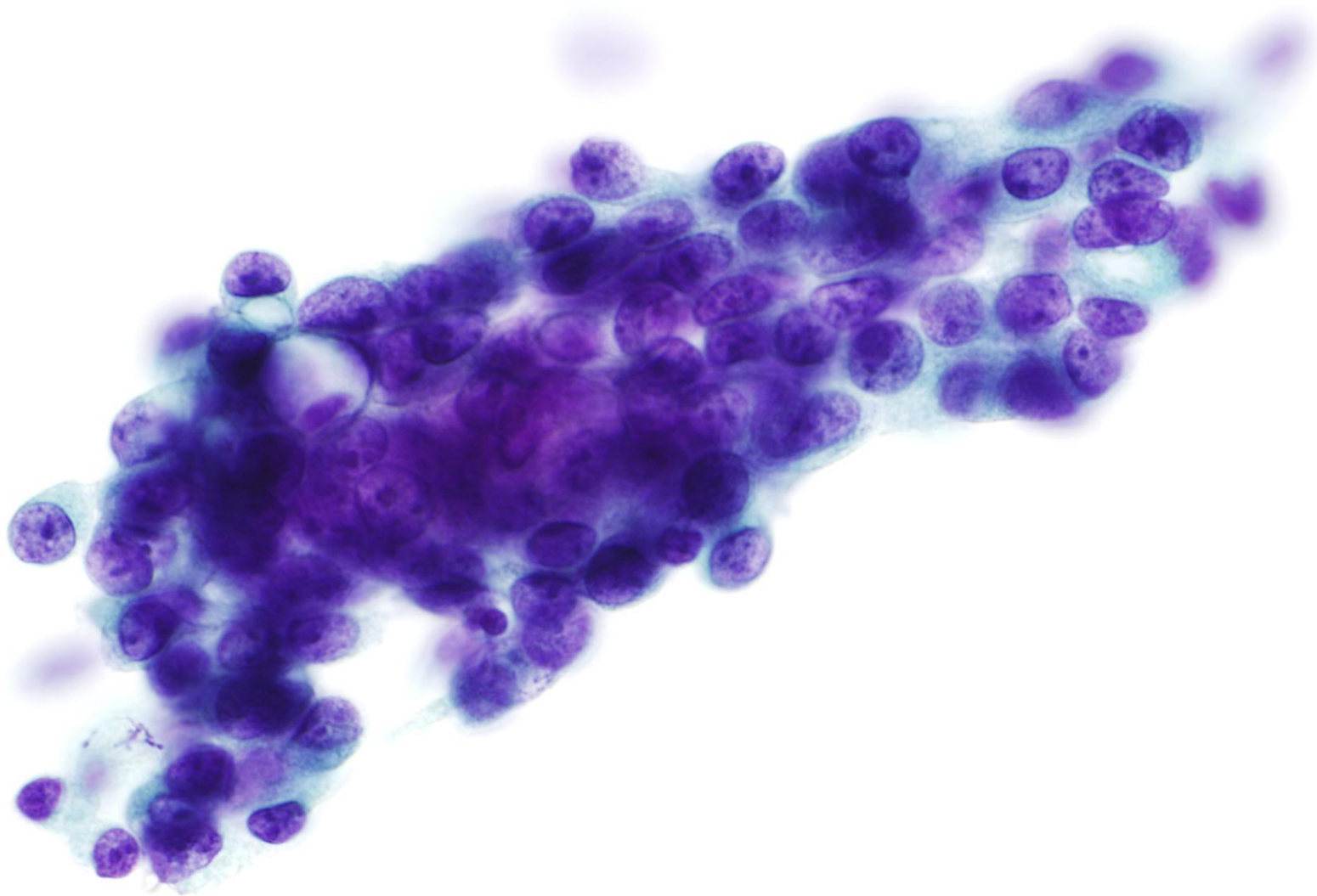
Pap. $\times 40$



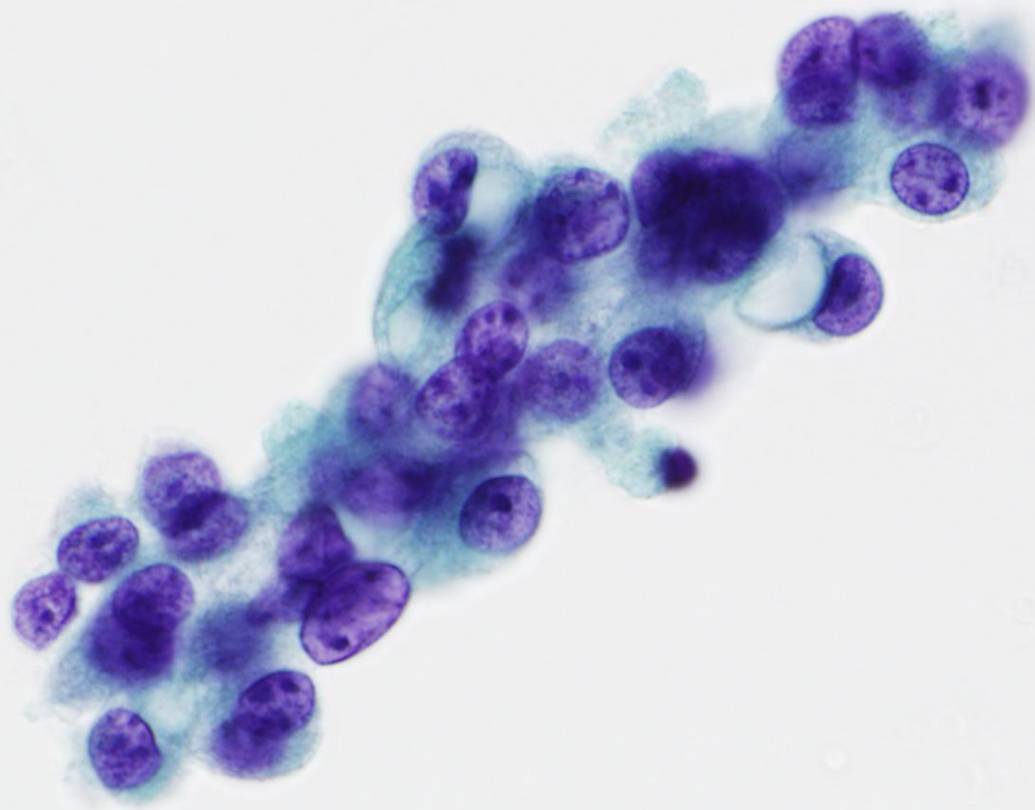
Pap. ×40

Pap. $\times 40$

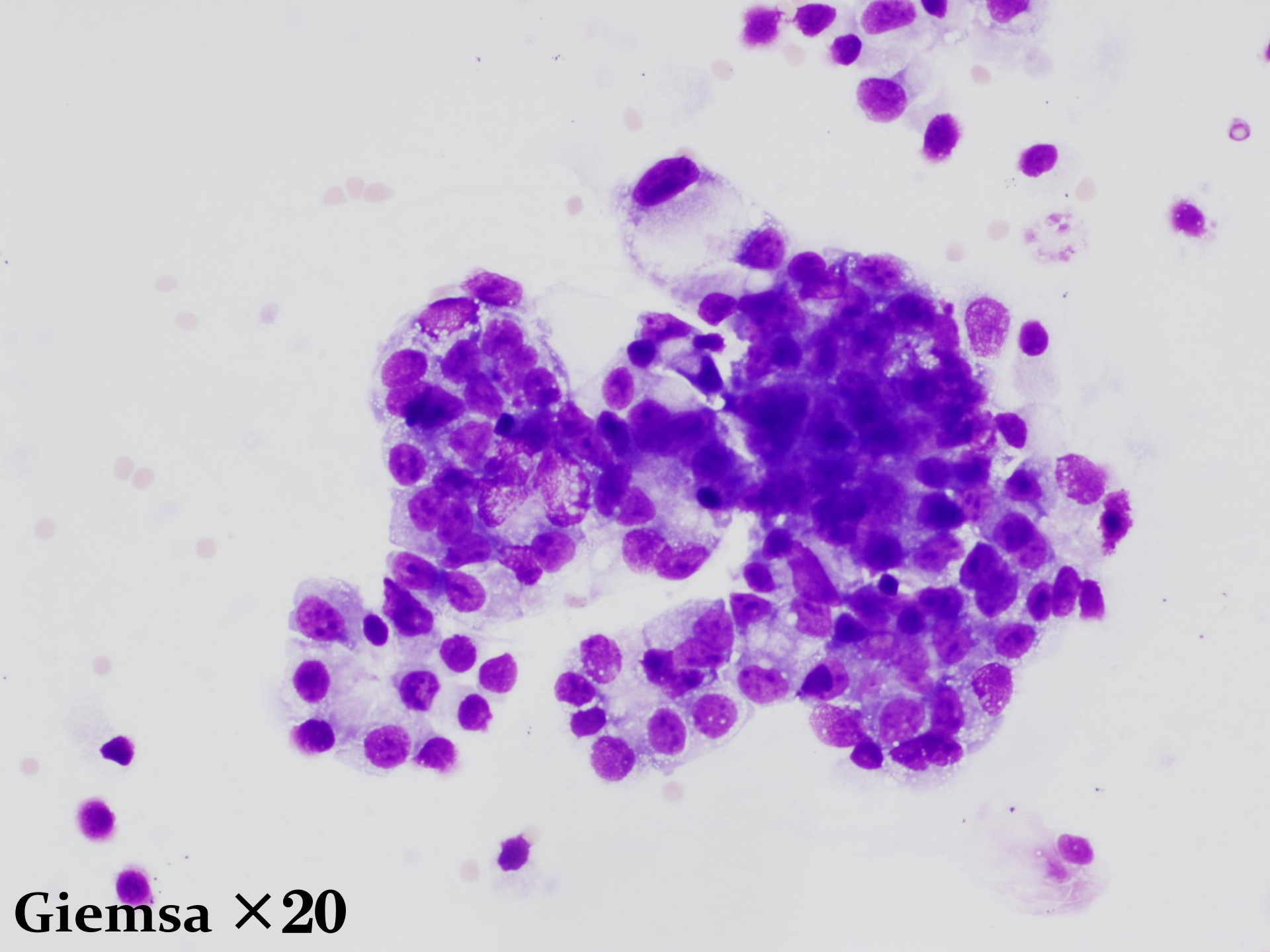




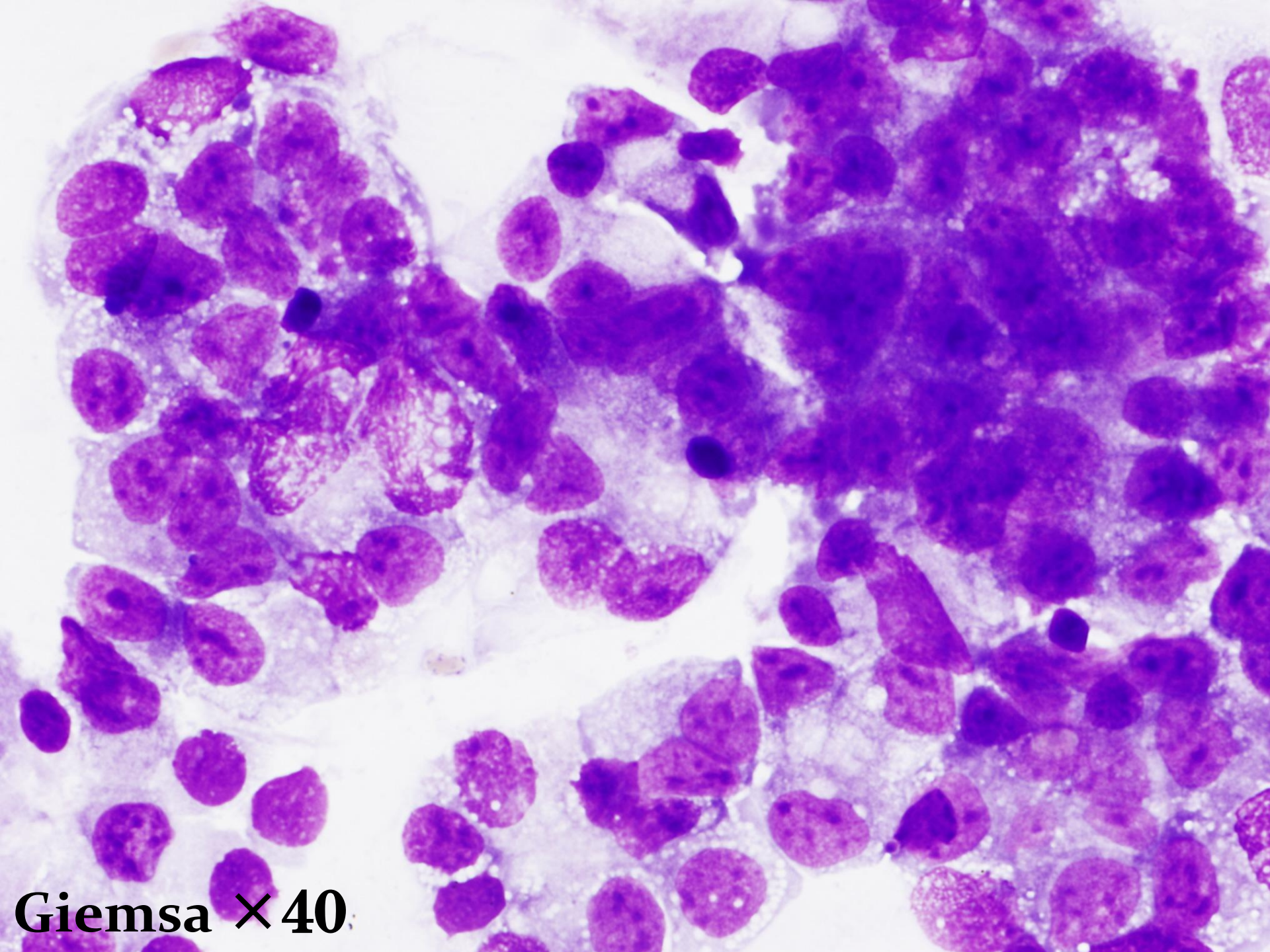
Pap. ×40



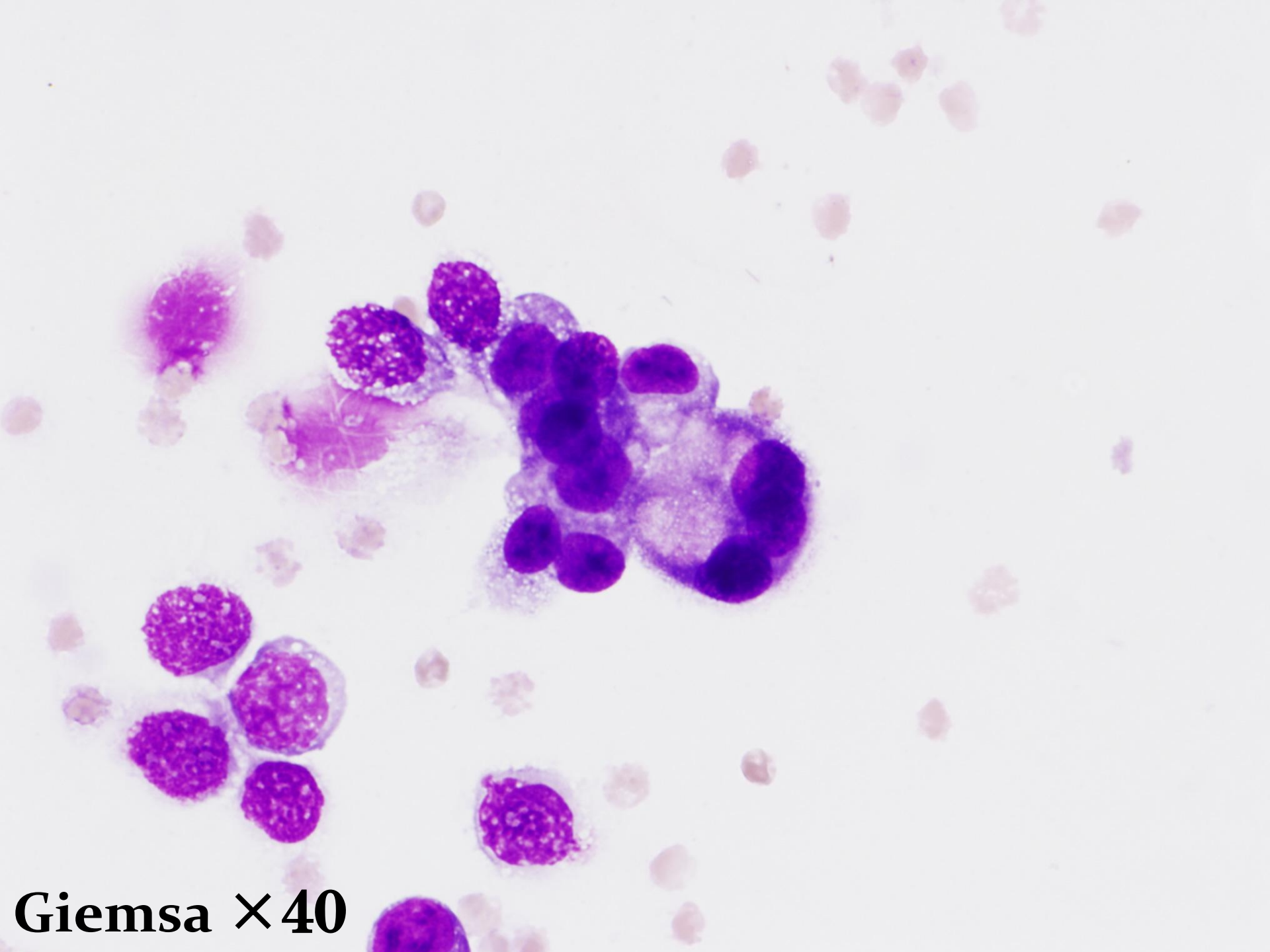
Pap. ×40



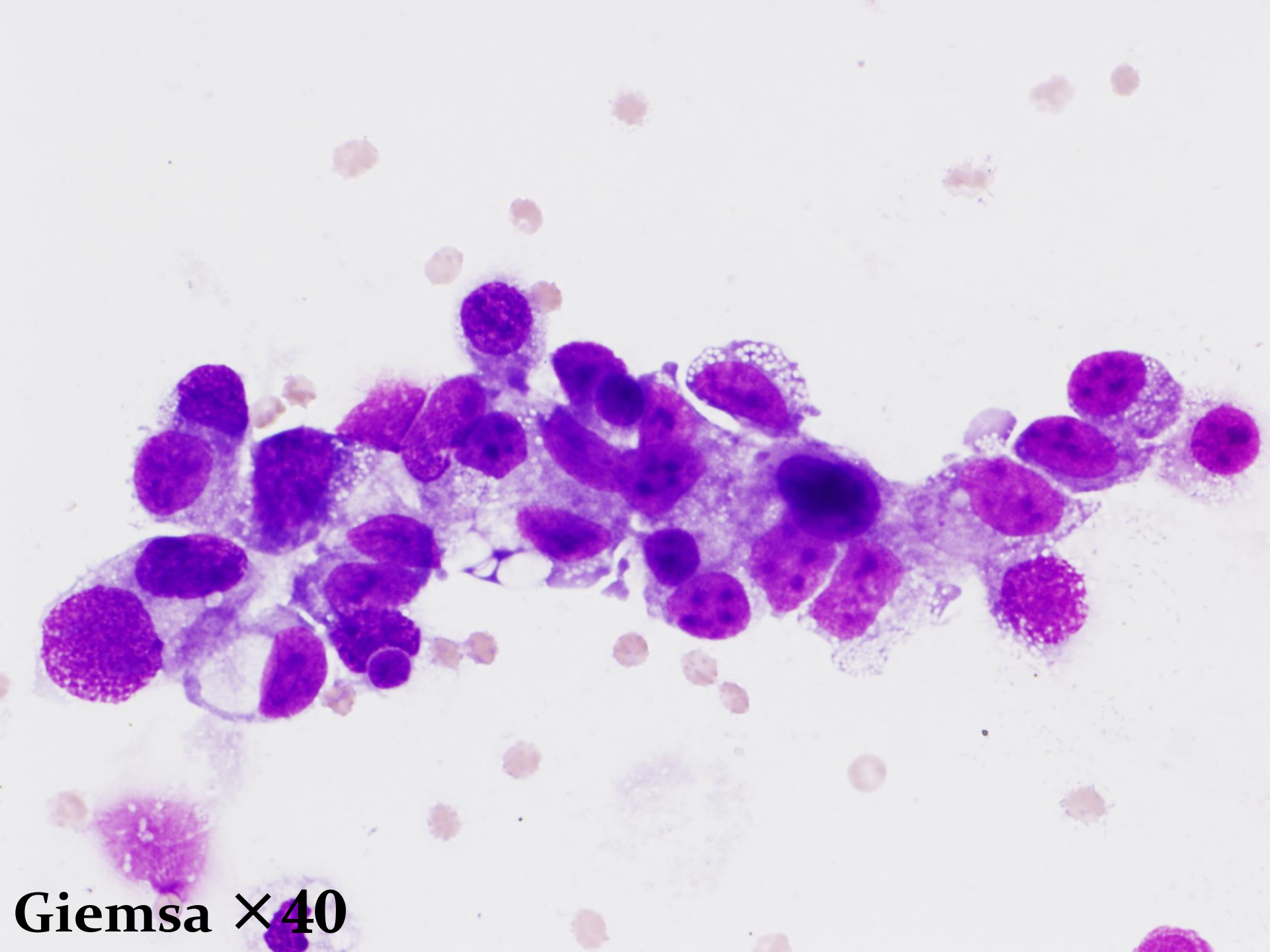
Giemsa × 20



Giemsa × 40.



Giemsa × 40



Giemsa ×40

細胞診断は？